

岩手県知事 達増 拓也 様

要望書



国道281号

三陸沿岸道路



国道281号 久慈溪流



国道281号 平庭峠

令和 8 年 7 月 13日



国道281号整備促進期成同盟会

「国道281号」の抜本的改良整備について

〈要旨〉

国道281号を、より規格の高い道路として早急に全線を整備されますよう強く要望いたします。

〈内容〉

久慈市と盛岡市を結ぶ国道281号は、産業・観光・救急医療面において地域を支える重要な路線であり、令和3年に岩手県が策定した「岩手県新広域道路交通計画」において、将来の高規格道路を目指す構想路線として「(仮称)久慈内陸道路」が当路線に重なる形で位置付けられたところであります。

また、東日本大震災においては、被災地である三陸沿岸北部への救援ルートとしても有効に機能した路線でもあります。

しかしながら、当路線は未だ多くの線形不良・隘路区間が存在し、急勾配・急カーブが連続する山間部では、冬期における安全・安心な交通確保が長年の重要課題となっております。

また、平成28年8月30日に岩手県を襲った台風第10号による豪雨災害では、当路線も法面崩壊や道路流出等による不通箇所が多数発生し、道路機能の脆弱性が明らかとなったほか、将来的に発生確率が高いとされている日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による最大クラスの津波により、久慈市をはじめ、沿岸市町村に甚大な被害が生じると想定されております。

沿岸の縦軸である三陸沿岸道路と、沿岸部と内陸部を短時間で結ぶ横軸と有機的に連結することで、広域防災拠点とのアクセス性が向上することが期待されます。激甚化・頻発化する災害から沿線住民を守る「命の道」として、国道281号の抜本的な改良整備が早急に図られますよう強く要望いたします。

国道281号整備促進期成同盟会
会長 久慈市長 中 平 均



要 望 事 項

1 「(仮称)久慈内陸道路」の早期実現及び国道 281 号の機能強化

久慈～盛岡間の移動時間の短縮に向けた、構想路線「(仮称)久慈内陸道路」の実現を見据え、路線全体の機能強化を図ること。

特に、「葛巻町小屋瀬地区『(仮称)小屋瀬道路』」について、早期に新規事業化を実現するとともに、防災拠点・医療拠点へのアクセス性向上のため、「葛巻町九蔵坂地区～茶屋場地区間」の道路改良整備に向けたルート検討を進めること。

また、冬期間に危険性が高まる「久慈市山形町平庭地区」の道路改良整備（道路拡幅及び線形改良）に向けた環境影響調査等を進め、適切なルート検討を進めること。

2 平常時・災害時を問わない道路ネットワーク整備等の推進

人口減少が加速している地方の創生、平常時・災害時を問わない経済や生活の安定的確保のため、現在、整備が進められている「久慈市山形地区『(仮称)下平トンネル』」の早期完成に向けた整備促進に加え、「戸呂町口～久慈間」などの脆弱性のある区間について、補助事業等により災害に強い道路整備を重点的に行うこと。

また、岩手県立久慈病院までのアクセスルートにおいて、災害発生時に電柱倒壊による道路閉鎖等が発生しないよう、「久慈市荒町地区の無電柱化」について、確実に事業を推進すること。

併せて、「滝沢市～岩手町における国道 4 号重複区間の 4 車線化」について、関係機関との協議を進め、引き続き、事業化について検討を進めること。

3 地域の人々の命と暮らしを守る施策の推進

地域子どもたちを守るため、現在事業が進められている「久慈市大川目町生出町地区」をはじめ、通学路の歩道整備などの交通安全対策を強化するために、必要な予算を継続的に確保すること。

また、現在歩道が設置されていない「岩手町大坊地区」、「久慈市大川目町森地区」及び「久慈市川貫地区」の歩道設置の事業化に加え、歩道空間確保のため「葛巻町中心部の流雪溝の抜本的な改修整備」及び「葛巻町城内小路地区の道路拡幅及び線形改良整備」についても、地域住民の安全確保のために事業化の検討を進めること。

要 望 事 項

4 国土強靱化実現に向けた防災・減災対策

道路の安全・安心の確保に向け、予算や体制面の支援を充実させ、橋梁、トンネル、舗装などの老朽化対策等を推進すること。「第一次国土強靱化実施中期計画」を踏まえ、目標を達成するため、「概ね 20 兆円強程度」の「強」の部分を含め、必要かつ十分な公共事業予算を確保し、通常の公共事業予算とは別枠で計上すること。予算編成過程で資材価格の高騰等の影響を適切に反映し、頻発する災害も踏まえ、必要な予算を満額確保すること。

また、令和 4 年度に岩手県より公表された、「岩手県津波浸水想定」による最大クラスの津波浸水想定区域に含まれている当路線の「久慈市街地エリア」を回避し、国道 45 号へ接続するバイパス整備の事業化を検討すること。

さらに、大規模自然災害に即応するため、地方整備局等の体制強化や必要となる資機材の更なる確保に取り組むこと。

5 必要かつ十分な予算・財源の安定的・持続的な確保

これらの項目を踏まえ、地方創生を実現し、日本経済の活力を取り戻すため、計画的かつ長期的な道路の整備・管理が計画的に進められるよう、新たな財源の創設等も見据えながら、令和 9 年度の道路関係予算は、近年の資材価格や建設業における人件費の上昇などに加え、中東情勢の不安定化による原油価格の上昇の影響も踏まえ、所要額を満額確保すること。

要望箇所一覧（参考資料）

要望 番号	箇所名	具体的な箇所・要望内容
1－①	葛巻町小屋瀬地区	「(仮称) 小屋瀬道路」の新規事業化
1－②	葛巻町九蔵坂地区～茶屋場地区	道路改良整備に向けたルート検討
1－③	久慈市山形町平庭地区	道路拡幅及び線形改良に向けたルート検討
2－①	久慈市山形地区案内～戸呂町口間	「(仮称) 下平トンネル」の早期完成
2－②	久慈市山形地区戸呂町口～久慈間	災害に強い道路整備
2－③	久慈市荒町地区	無電柱化事業の確実な推進
2－④	滝沢市～岩手町の国道4号重複区間	4車線化の事業化検討
3－①	久慈市大川目町生出町地区	歩道整備の確実な事業推進
3－②	岩手町大坊地区	大坊地区歩道未設置区間の約900m区間における歩道設置の事業化検討
3－③	久慈市大川目町森地区	森交差点～山口橋間の約400m区間における歩道設置(グリーンベルト箇所を含む)の事業化検討
3－④	久慈市川貫地区	「市道大沢南線西側交点部～市道久慈川南通り線の約1km区間の南側路肩」及び「市道川貫栄町線交点部～久慈市西の沢6-31-2地先の約80m区間の北側路肩」における歩道設置の事業化検討
3－⑤	葛巻町中心部	茶屋場地区～田子地区間における流雪溝の抜本的改修整備の事業化検討
3－⑥	葛巻町城内小路地区	城内小路地区幅員狭小急カーブ区間における道路拡幅及び線形改良整備の事業化検討
4－①	久慈市街地エリアの津波浸水想定区域	浸水エリアを回避して国道45号へと接続するバイパス整備の事業化